

NEWS RELEASE

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

業務用 24 型 4K/HDR ディスプレイ “DP-V2411” を発売 安定した高輝度表示と 12G-SDI 端子搭載で撮影時の映像確認に最適

キヤノンは、業務用ディスプレイの新製品として、安定した高輝度表示の実現や 12G-SDI 端子の搭載により、4K/HDR^{※1} 撮影現場での映像確認に適した 24 型 4K/HDR ディスプレイ “DP-V2411” を 2017 年 12 月上旬より発売します。



DP-V2411

新製品は、独自開発のディスプレイ用映像エンジンや、独自設計の直下型 LED バックライトシステム、IPS 液晶パネルを採用することで、忠実な色再現・高解像度・高コントラスト・高輝度を実現し、撮影した 4K/HDR 映像を正確に確認することができます。

■ 安定した高輝度表示を実現

600cd/m²（最大輝度・全白輝度^{※2}）の高輝度表示が可能なことに加え、映像信号の平均輝度が上昇した際に表示画面の輝度が低下するといった、映像内容による輝度の変動を抑制し、安定した高輝度性能を実現しています。これにより、撮影現場やスタジオなどでより正しい輝度や色で 4K/HDR 映像を確認することが可能です。

■ 4K/60P の映像をケーブル一本で送受信できる 12G-SDI 端子を搭載

12G-SDI 端子（IN/OUT 各 4 系統）の搭載により、3G-SDI 端子搭載の 4K ディスプレイでは SDI ケーブルを 4 本必要としていた 4K/60P 映像の送受信が、12G-SDI 対応ケーブル 1 本で可能になります。ケーブルの本数を抑制できるため、設置の手間やコスト、質量の削減に加え、省スペース化にも貢献します。

■ HDR 映像の確認に便利な撮影アシスト機能を搭載

現行機種「DP-V3010/2410/2420/1710」と同様に、放送向けの HDR 方式である「Hybrid Log-Gamma」や、映画制作や配信向けの HDR 方式である「PQ^{※3}」、キヤノン独自の Log ガンマ「Canon Log/Log 2/Log 3」など、各種 EOTF^{※4}に対応しています。また、入力信号の輝度レベルを表示する波形モニターや、入力画像を輝度別に異なる色で表示するフォルスカラー機能など、各種 HDR 方式に対応した便利な撮影アシスト機能を備えており、HDR 映像を効率的に確認できます。

製品名	希望小売価格	発売日
DP-V2411	オープン価格	2017 年 12 月上旬

※1 「High Dynamic Range」の略。映像の明部と暗部の輝度差（ダイナミックレンジ）を向上させる技術。

※2 「ブースト オン」選択時は、1000cd/m²までの高輝度表示が可能。工場出荷時の標準値で、保証値ではありません。

※3 「Perceptual Quantizer」の略。

※4 「Electro-Optical Transfer Function」電気-光伝達関数。

- 報道関係者のお問い合わせ先：キヤノン株式会社 広報部 広報課 03-3757-6320（直通）
- 一般の方のお問い合わせ先：キヤノンお客様相談センター 050-555-90006
- 報道関係者用ホームページ：e-pr.canon.jp ● ディスプレイホームページ：canon.jp/v-display

＜主な特長＞

1. 安定した高輝度表示性能を実現

- ・独自開発のディスプレイ用映像エンジンや独自設計の直下型 LED バックライトシステム、IPS 液晶パネルを採用することで、600cd/m²（最大輝度・全白輝度）の高輝度表示が可能。また、映像信号の平均輝度が上昇した際に表示画面の輝度が低下するといった、映像内容による輝度の変動を抑制し、安定した高輝度性能を実現。撮影現場やスタジオなどでの映像確認に最適。
 - ・カラーグレーディング※に適した高輝度・高コントラストを持つ 24 型の上位機「DP - V2420」（2016 年 11 月発売）と合わせ、4K/HDR 映像制作のワークフローを強力にサポート。
- ※ 色味やトーンを整えて、作品の世界観を作り上げていく作業。

2. 4K/60P の映像をケーブル一本で送受信できる 12G-SDI 端子を搭載

- ・12G-SDI 端子（IN/OUT 各 4 系統）の搭載により、3G-SDI 端子搭載の 4K ディスプレイでは SDI ケーブルを 4 本必要としていた 4K/60P 映像の送受信が、12G-SDI 対応ケーブル 1 本で可能。ケーブルの本数を抑制できるため、設置の手間やコスト、質量の削減に加え、省スペース化にも貢献。
- ・12G-SDI 対応ケーブル（4 本）の接続により、4K/60P の映像信号を 4 系統入力でき、1 つのディスプレイで信号を切り替えながら効率的に複数の 4K 映像を確認することが可能。
- ・HDMI 端子を搭載しており、4K/60P 映像をケーブル 1 本で受信し再生することが可能。また、「SMPTE ST 2086」の HDR メタデータの表示にも対応しており、コンテンツ内の最大輝度や平均輝度など HDR 映像制作に欠かせない情報を確認可能。
- ・スイッチャーからのコントロール制御が可能な REMOTE 端子や、外部機器からのコントロール制御が可能な LAN 端子を搭載。
- ・電源部には、AC100～240V に加え、中継車や撮影現場で用いられている DC24V を採用し、屋外の撮影でも映像確認が可能。

3. HDR 映像の確認に便利な撮影アシスト機能を搭載

- ・「DP-V3010/2410/2420/1710」と同様に、放送向けの HDR 方式である「Hybrid Log-Gamma※」や、映画制作や配信向けの HDR 方式である「PQ※」、キヤノン独自の Log ガンマ「Canon Log/Log 2/Log 3」など、各種 EOTF に対応。
- ・入力信号の輝度レベルを表示する波形モニター、入力画像を輝度別に異なる色で表示するフォルスカラー、2 画面表示など、多彩な撮影アシスト機能を搭載。ユーザーが利用する規格に応じて、4K/HDR 映像を効率的に確認可能。

※ HDR の国際規格 ITU-R BT.2100 や、米国映画テレビ技術者協会の HDR 規格 SMPTE ST 2084 などが定めた各種 HDR 方式に対応しています。

【主な撮影アシスト機能】

① EOTF（Electro-Optical Transfer Function）

ビデオ信号をディスプレイの光（リニア信号）に変換し、各種規格に沿った変換関数で表示する機能。「Hybrid Log-Gamma」や「PQ」などに対応し、さまざまな規格の映像を確認可能。

② 波形モニター

「Hybrid Log-Gamma」や「PQ」の HDR 方式に沿った信号の輝度レベルをスケール（単位）表示で確認可能。

③ フォルスカラー

入力画像を輝度別に異なる色で表示することにより、カメラの露出合わせを補助する機能。白とびや、黒つぶれを輝度に応じた色で表示し、露出状態を視覚的に確認可能。また、波形モニターと同様に、各種 HDR 方式の輝度スケール（単位）を表示し、信号の輝度レベルをより正確に確認可能。

④ 2 画面表示

1 系統／2 系統の 4K 映像を 2 画面で表示可能。HDR と SDR（Standard Dynamic Range）の比較や、HDR とフォルスカラーやピーキングなど機能表示を並べて確認することが可能。

⑤ HDR レンジ調整

HDR 規格や Log の映像信号が持つダイナミックレンジの全階調を表示することや、確認したい階調の範囲を調整し表示することが可能。



波形や輝度表示の確認が可能な 2 画面表示（イメージ）

4. 映像制作現場のニーズに応える仕様

- ・ディスプレイ本体の大きさは約 576mm（幅）×387mm（高さ）×105mm（奥行）※と、24 型 HD ディスプレイを搭載している多くのラックマウントで置き換え可能な仕様を実現。
- ・「EOS C700／C500／C300 Mark II」に加え、ARRI 社のカメラシステムとの連携を実現。カメラから取得したメタデータの表示や、カメラの画質設定値と連動した映像表示ができ、撮影した映像を効率的に確認可能。

※ 本体のみ（突起部除く）。

<ご参考>

2017 年 9 月 15 日（金）から 19 日（火）までオランダ・アムステルダムで開催される国際放送機器展「IBC 2017」のキヤノンブースにおいて、“DP-V2411”を展示します。

<業務用 4K ディスプレイの市場動向>

映像制作業界ではデジタル化が浸透してきており、ハリウッドや動画・音声をインターネット上で提供する OTT（Over The Top）サービスなどの最先端の映像制作現場では、フル HD に続き 4K／HDR 映像などの高画質な次世代フォーマットへの対応が進んでいます。また、放送においても 4K 放送の実用化に向けた取り組みが始まっており、入力から出力まで映像制作ワークフローの 4K 化が進み、高精度な映像制作機器の需要が伸びているとともに、4K 映像を忠実に再現できる高画質・高精細の 4K 映像制作ディスプレイのニーズも高まっています。（キヤノン調べ）

<主な製品仕様>

パネル	パネル方式		IPS 液晶パネル
	画面サイズ		24 型（対角約 61.1cm）
	アスペクト比		17 : 9
	解像度		4096×2160 ピクセル（8.8 メガピクセル）
	有効表示領域		約 540.7×285.1mm
	ピクセルピッチ		132μm/193ppi
画質	輝度※	標準	100 cd/m ²
		最大・全白	600 cd/m ² （「ブースト オン」選択時：1000 cd/m ² ）
	視野角（上、下、左、右）		89°（コントラスト比 10 : 1 以上）
	表面処理		アンチグレアコーティング
一般	バックライトタイプ		直下型 LED
	電源		定格電圧：AC100～240V、DC24V 定格周波数：50 / 60Hz
	消費電力	工場出荷時	約 130W
		最大負荷時	約 230W
	環境条件	使用	温湿度：0～40℃（20～85%RH 結露がないこと） 推奨温湿度：15～30℃（20～80%RH 結露がないこと） 気圧：700～1060hPa
		保存・輸送	温湿度：－20～40℃（20～85%RH 結露がないこと） 41～60℃（20～30%RH 結露がないこと） 気圧：700～1060 hPa
	外形寸法 （幅×高さ×奥行き）		約 576×438×180mm（キャリングハンドル／スタンド含む） 約 576×387×105mm（本体のみ、突起部除く）
	質量		約 12kg
インター フェース	入力	SDI	4 個（12G／6G／3G／HD／SD-SDI に対応） BNC（75Ω）レセプタクル端子
		HDMI	1 個 Type A 端子
	出力	SDI	4 個（12G／6G／3G／HD-SDI に対応）
		ヘッドホン	1 個 ステレオミニジャック
	その他	USB	1 個 USB Type-A レセプタクル端子
		LAN	1 個 RJ-45 端子（10BASE-TX／100BASE-TX 準拠）
		REMOTE	1 個 RJ-45 端子 GPI 8 ピン

※ 工場出荷時の標準値で、保証値ではありません。また、「ブースト オン」選択時は、バックライトコントロール機能の「ローカルディミング 強／弱」の選択ができません。

* HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

* VESA は、Video Electronics Standards Association の米国およびその他の国における登録商標または商標です。